

2015年
1月
No.195

さざなみ

〒520-2141
大津市大江6丁目23-24
浦谷貞子 気付
さざなみネット
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)
TEL・FAX 077-545-5154



切実な要求を基礎に 地域の中小企業や住民とともに奮闘を

新年明けましておめでとうございます。

昨年は激動の年でした。安倍政権は、7月1日集団的自衛権行使容認の閣議決定を強行しました。戦後70年の平和を壊す暴挙は絶対許せません。

年末の総選挙で、安倍政権が3分の2の議席を維持しました。しかしこれをもって安倍政権の政策が信任を受けたとは到底いえません。絶対得票は6人に1人に過ぎず小選挙区制度による虚構の多数によるものです。各種世論調査でも、消費税増税や集団的自衛権、原発再稼働など個別課題では反対が6から7割に達しています。

実
質
賃
金

が
17カ月連続でマイナスとなり、非正規労働者は2000万人を超えるなど労働者のおかれている状態は厳しくなっています。

金融機関を取り巻く情勢は厳しく、地域金融機関の再編を促す動きや労働環境の改悪などが具体化しています。

労働者のたたかいなくして本格的な賃上げや労働環境の改善は実現できません。

情勢は劇的に変化しており、国民的運動が一気に盛り上がる可能性があります。切実な要求を基礎に地域の中小企業や住民とともに、賃金底上げによる内需活性化のため奮闘していきたくと思っています。引き続きみなさまのご支援ご協力をよろしくお願いします。

全国金融産業労働組合近畿支部滋賀分会
(さざなみネット)

分会長 浦谷 貞子



羽根つき

岩波 美智子さん 画

「羊」という字は、ヒツジを正面から見たときの、角と上半身を表した形です。後ろ足までの全体を表した形が「美」で、成熟したヒツジの美しさを表しています。

羊は古くから家畜として親しまれ、羊の毛は織物、肉や乳は食用にされるなど、大変身近な動物です。また群れをなして行動するため、家族の安泰や平和をもたらす縁起物とされています。そのため、羊がつく漢字も多く、祥、翔、義、美、羨、善などよい意味をもつものに用いられています。

今年には安倍政権をストップさせ、平和で安泰な年になるようがんばりたいものです。

羊

羊

「末」という字は、枝が茂っている木の形で、まだ枝が伸びきっていない部分を描いたものだとされています。本来の読みは「み」。未来、未熟、未明、未満などのことがあります。

末

- ① 十二支の8番目。
- ② 方位。南から西へ30度の方向。
- ③ 昔の時刻。今の午後2時頃。また、およそ午後1時から3時の間の時刻。
- ④ 月では陰暦6月の称。



2015年合同旗開き

情勢に確信を持ちがんばろう

さざなみネットは、滋賀銀行従業員組合および同・年金者部会と合同で、1月20日大津市内において、「2015年合同旗びらき」を開催しました。それぞれの役員14人が、さざなみネットからは4人が参加しました。

中島滋賀従組委員長は「『職場の民主化 あらゆる差別の解消に向けて』の闘いは、1年3か月かかったが銀行との交渉で先輩のご支援も得て無事解決した。こういう解決は金融労連の中でなかなかない。こういうことができる原点は組合の歴史の中で、労使対等の関係を維持してこられたことによる。昨年の総選挙では自公政権が3分の2の議席を維持したが、情勢は激動している。海外へ進出が当たり前の大企業が今国内に回帰して来ている。考えられないことが起きている。

組合に入って育てていただいた。今年は情勢の変化に確信を持ち1歩踏み出し、展望のある話ができるようがんばっていきたい」と挨拶されました。和田年金者部会部会長は、「地域では『金持ちになったか』



参加した各組織の役員

『アベノミクスでみんな金持ちになると言っているが』とみんなに話している。また『いまでもに何が必要か』聞いている。『学力が大事』『教養が必要』『常識が必要』『常識を教える親に常識がない人が多い』などと話が進む。子どもには『人に会ったらあいさつを』『年寄りを見たら大事に』と言っている。こんなことが言える経験を組合で教えてもらった。それが今役立っている。できる限りがんばっていきたい」と挨拶されました。

倉見年金者部会世話人の音頭で乾杯の後、参加者は新しい年への決意などを、食事をしながら交流し、今年の健康と要求実現に向け奮闘することを誓い合いました。

最後に浦谷さざなみネット分会長は「私たちの役割は大きい。よい1年となるよう、健康に気をつけて、みんなでがんばろう」と挨拶し閉会しました。



中島滋賀従組委員長があいさつ

レビュー

1月14日、京都南座で「前進座初春特別公演・薄桜記」を観劇した。

「薄桜記」は五味康祐
|| 原作・ジェームス三木
|| 脚本・演出で、昨年テレビで放映された。

「武士道は死ぬことと見付けたり」の武士道精神を貫き通す2人の武士の生きざまと愛を貫こうとする女。丹下典膳は堀内道場師範代。妻千春は上杉藩国家老長尾権兵衛の娘で仲人口は吉良上野介。前途洋々の典膳だが、千春の不始末から妻を離縁、怒った兄龍之進に左腕を切り落とされる。もう1人は浪人の中山安兵衛。典膳の1番弟子で、高田馬場の決闘で名をあげたことがきっかけで浅野の家臣堀部家の婿養子になる。男の友情と強い絆で結ばれた2人の武士が、運命のいたずらに吉良方と浅野方に引き裂かれ、松の廊下事件からは敵対関係におかれる。

正義や忠義、愛とは何かを考えさせられる芝居である。四十七士や侍のことを題材にした映画がハリウッドで作られたり、世界が日本人の精神の美しさに注目していると言った。

時代は違いますが、思いや精神が伝わり、心揺さぶられるひとときを過ごしました。

